

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
2.(社福)恩賜財団 母子愛育会	1.2.3.4.5.	<p>1. 母子保健関係者に対する研修会・講習会の実施 目的・対象者及び参加人員 保健師に対し、母子保健に関する最新知識と今日的課題への対応及び保健指導技術を修得させた。自治体の保健師 100名 栄養士に対し、乳幼児期の食生活・栄養に関わる知識・情報を提供し、栄養相談を展開するための技術を学ばせた。自治体勤務の栄養士 30名 母子保健の課題と最新情報に関する講義、事例研究等により、専門指導員を育成した。自治体勤務の保健師・助産師・看護師等 30名 医師、助産師及び看護師に対し、新生児・未熟児の診断・治療・看護等に関する最新の理論と技術を提供した。医師・助産師・看護師 290名 臨床検査技師に対し、最新の技術と情報を提供し、技術者の資質を高めた。先天性代謝異常症等検査技術者 50名</p> <p>2. 子ども家庭福祉情報等の提供事業 目的～子ども家庭福祉に関する各種情報を幅広く関連機関職員や研究者等に提供した。 情報収集リスト～ 国の施策、審議会、懇談会等 虐待問題、里親問題等 病気・医療 健やか親子21関連 子育て支援 児童福祉施設・養護施設 障害児に関すること等 Web版「愛育ネット」による情報提供～解説論文・行政情報及び統計情報 専門図書資料の収集及び閲覧～蔵書数 約5千冊、文献資料 約1,500件</p>	<p>平成15年度の取組実績に準じ、下記のとおり実施する計画である。</p> <p>1. 母子保健関係者に対する研修会・講習会の実施 実施内容及び対象範囲を再検討して実施する。</p> <p>2. 子ども家庭福祉情報等の提供事業 内容の充実を図り、実施する。</p> <p>3. 愛育班員等研修会 愛育班員の拡充と指導員の増員を図る。</p> <p>4. 子ども総研式・子育て支援質問紙の作成・頒布 設問内容を要望に添ったものに再検討し、作成する。</p> <p>5. 専門里親養成教育の開催 地方自治体からの要望に応じられるよう、関係方面と協議して実施する。</p>
2.(社福)恩賜財団 母子愛育会		<p>3. 愛育班員等研修会～市町村の愛育班員及び各保健所の保健師を対象に、中央及び地方における指導者・講師の派遣及び研修会等の開催 10回</p> <p>4. 子ども総研式・子育て支援質問紙の作成・頒布～育児不安の軽減を図るために、育児不安の関連要因を評定できるような質問紙を作成し、頒布した。</p> <p>5. 専門里親養成教育の開催～厚生労働省が平成14年度から導入した「専門里親」を養成するための理論と実践について教育した。 100名</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
13. 全国助産師教育協議会	「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」に関する助産師教育についての検討 15.20.関連テーマ	第39回全国助産師教育協議会総会を開催 期間:平成15年5月16日(金)～17日(土) 場所:東京都立保健科学大学 1.「大学院における助産師教育」の検討を行い、教科内容・科目案、実習計画試案、評価案、などの例を提示した。 2.教育制度委員会では「助産基礎教育における教育のコア」の検討を行い、妊娠期・分娩期の診断とケアや、不妊の悩みをもつ女性のケアなどの教育内容について、検討中。 3.教育業務委員会では地域母子保健業務に従事する助産師必要数検討のための調査を行い、調査対象市町村における常勤助産師の配置の現状は10%であった。これらの結果から、地域母子保健業務に従事する助産師の必要数を検討。 4.分娩介助実習の実態について看護系4年生大学89大学を対象に調査を行った。 回収63大学中、助産師課程があり卒業生を出している大学26校での分娩介助例数は、平均数8.75例であった。これらの結果に基づき、分娩介助実習の内容について検討中。 全国助産師教育協議会NEWS LETTER発行(年4回) ・NEWS LETTER No.39 2003.5.1 発行の関連記事として、不妊専門相談センター助産師の竹田典子氏の不妊看護6年の実績から、「助産師として、不妊の女性の悩みを聞き、不妊治療に関する情報を提供し、治療に関して自己決定ができるための支援の継続」などについて掲載。	1. 第40回全国助産師教育協議会総会を開催 期間:平成16年5月21日(金)～22日(土) 場所:東京都立保健科学大学 2. 全国助産師教育協議会NEWS LETTERを継続的に発行 ・NEWS LETTER のなかに、関連記事をとりあげる。 3. 第30回全国助産師教育協議会研修会を開催 期間・内容は未定
13. 全国助産師教育協議会		第29回全国助産師教育協議会研修会を開催 メインテーマ:「子産み子育ての原点と助産師教育」 期間:平成16年3月19日(金)・20日(土) 会場:東京都立保健科学大学 1日目内容「出産や育児の原点とそれらにまつわる昨今の課題」 講演「分娩台よさようなら」大野明子先生(明日香医院) 講演「ぬくもりの子育て」堀内頸先生(聖マリアンナ) 講演「妊産婦と感染症」川名尚先生(帝京大学) シンポジウム「子産み子育てを阻む性暴力と助産師の役割」 2日目内容「専門職業人としての教育に視点」 講演「助産師教育への新しいチャレンジ」近藤潤子先生(天使大学) シンポジウム「助産師教育のターニングポイント」 参加者:3月19日 128名、20日127名	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
16.(社)全国 保健センター連 合会	15.16.	<p>*研修会(テーマ:上記のいずれも該当)</p> <p>1.東西ブロック別「親と子のいきいき学級セミナー」(延べ参加者数104名) 目的:健やか親子21推進の一環として、親になるための準備として「両親(母親)学級」等のプログラミング・実習(妊産婦体操等)の支援方法を研修する。 地区(2地区):福島県、島根県 東ブロック:福島ビューホテル 平成15年7月24日・25日(参加者数44名) 西ブロック:ホテル白鳥 平成15年6月5日・6日(参加者数60名) 効果・その他:妊産婦体操等について理論と実習を双方からの研修を行ったことで、市町村で実施するための具体的支援方法について普及することができた。</p> <p>2.女性の健康エクササイズセミナー - 妊産婦体操実践指導員養成講習会 - 目的:従来の妊産婦体操の指導内容を基礎に、女性の健康づくりエクササイズとしてプログラムを拡充、ライフステージに対応した健康づくりの基本知識とエクササイズを修得する。 地区:東京都(東京厚生年金会館) 基礎コース:平成15年8月5・6日(参加者数20名) 妊産婦体操実践指導員コース:平成15年8月5～8日(参加者数34名) 効果・その他:女性の健康づくりについての知識やエクササイズに関する技術の修得を通じ、実践の場で理論的な説明を含めた実技指導を行うことのできる指導員を養成した。</p>	<p>*研修会を継続実施(テーマ:上記のいずれも該当)</p> <p>1.女性の健康エクササイズセミナー 前年度と異なる内容:女性のライフステージ(思春期・不妊・妊娠・産後・更年期等)に対応した健康づくりの基礎とエクササイズの修得を目的とする。 東西ブロック別「親と子のいきいき学級セミナー」については、内容のリニューアルにつき、第4課題が主たるテーマとなる。</p> <p>*出版物等 前年度と同様に実施の予定</p> <p>*ホームページによる情報提供 前年度と同様に実施の予定</p>
16.(社)全国 保健センター連 合会		<p>*出版物等(テーマ:上記のいずれも該当)</p> <p>1. 広報誌「Monthly保健センター」による関連記事掲載 2. 妊産婦・お産関連のリーフレット、パンフレット、テキスト、ビデオの頒布</p> <p>*ホームページによる情報提供(テーマ:上記のいずれも該当)</p> <p>1. 全保連ホームページに下記項目を掲載 ・全国の保健センターのホームページをリンク ・市町村保健活動の事例を紹介</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
17. 全国保健師長会	15	<p>15 満足できる妊娠・出産への支援 ＊両親学級の実施 目的：妊娠・出産の不安除去や妊婦の仲間づくりや父親の父性意識の向上をめざす。 参加人数(対象者)：13,136人(父親参加734人再掲) 開催数、方法等：703回 効果、その他： ・母親だけでなく父親の参加をよびかけ、父性意識の向上が図られた。 ・学習を通して仲間づくりが行われ、問題解決する力が備わった。</p>	
20.(社)日本医師会	20.産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上	<p>20.産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上 平成15年度家族計画・母体保護法指導者講習会の開催 平成15年12月6日(土) テーマ「働く女性の母性の保護」 シンポジウム「若年者の性の問題を考える」 対象：日本医師会会員 日本産科婦人科医会会員 参加人数：約200人</p>	<p>20.産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上 平成16年度家族計画・母体保護法指導者講習会を開催予定 対象：日本医師会会員 日本産科婦人科医会会員 参加人数：200人を予定</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会	14.15.16.17.18.19.20.21.22.	<p>14.15.16.17.18.19.20.21.22.機関誌『家族と健康』を通して「健やか親子21」関連記事を取り上げる。(別項)</p> <p>14.15.16.17.18.妊娠について悩んでいる者に対する相談援助等事業の運営</p> <p>厚生労働省の支援を得て、本会クリニックを含む全国4施設を指定し、標記事業を実施した。</p> <p>(1)永井病院 宮城県仙台市 (2)芦原病院 大阪府大阪市 (3)柿木病院 鹿児島県鹿児島市 (4)本会クリニック 東京都新宿区</p> <p>本会クリニックでの活動実績</p> <p>助産師外来 指導人数 153人</p> <p>性の健康教育実績</p> <p>東京都立農芸高等学校 12 東京都立第一商業高等学校 216 東京都立鷺宮高等学校 96 東京都立農産高等学校 160 葛飾区立桜道中学校 180 東京都立大山高等学校 240 市川市立第三中学校 535 東京都立羽田高等学校 60 東京都立農産高等学校 94 東京都立杉並高等学校 70 東京都立九段高等学校 30 東京都立八王子高等学校 15 荒川区立諏訪台中学校</p>	<p>妊娠・出産に関する完全性と快適さの確保と不妊への支援</p> <p>14.15.16.17.18.19.20.21.22.機関誌『家族と健康』を通して「健やか親子21」関連記事を取り上げる。(別項)</p> <p>14.15.16.17.18.妊娠について悩んでいる者に対する相談援助等事業の運営</p> <p>厚生労働省の支援を得て、本会クリニックを含む全国4施設を指定し、標記事業を実施した。</p> <p>(1)永井病院 宮城県仙台市 (2)芦原病院 大阪府大阪市 (3)柿木病院 鹿児島県鹿児島市 (4)本会クリニック 東京都新宿区</p> <p>21.22.東京都から委託を受けて実施している不妊専門相談センターの充実・不妊の当事者への支援を目的とした不妊ホットラインの継続実施。不妊相談セミナーの開催</p> <p>東京都より一部補助を得て実施する。</p> <p>1.東京都・不妊ホットライン</p> <p>相談日:火曜日 相談員:赤城恵子、堀弘子他</p> <p>2.第7回不妊相談セミナーの開催</p> <p>期日:平成17年2月(予定)</p> <p>会場:未定(東京都)</p> <p>対象:医師、保健師、助産師、看護師等</p> <p>定員:150名</p>
22.(社)日本 家族計画協会		<p>川口市立青木中学校 綾瀬市立北の台中学校 150 新宿区立四谷中学校 荒川区立第七中学校 千葉県立長生中学校 150 江戸川区立葛西中学校 170 江戸川区立篠崎第二中学校 138 東京都立赤羽商業高等学校 100 埼玉県立坂戸西高等学校 東京都立国分寺高等学校 330 東京都立向島高等学校 2,746</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		21.22.東京都から委託を受けて実施している不妊専門相談センターの充実・不妊の当事者への支援を目的とした不妊ホットラインの継続実施 不妊ホットライン 年次合計 不妊ホットライン開設日数 49 男性 50 女性 718 合計 768 昨年同期 1152 比較 -384 (1)知りたい情報 検査 39 薬 53 AIH 19 AID 6 体外受精/顕微受精 48 男性不妊 18 代理母・卵提供 4 病院情報 81 習慣流産 10 その他 67 セックス 34 月経・基礎体温など 55 内膜症・筋腫など 8	
22.(社)日本 家族計画協会		(2)治療について 治療への迷い 190 病院への不満 85 費用 6 仕事との両立 2 その他 14 不妊への不安 89 (3)治療外のこと 周囲との人間関係 72 夫とのこと 54 自分自身のこと 132 妊娠・出産・育児 8 養子 4 子どものいない人生 19 その他 17	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		<p>21.22.「不妊相談セミナー」の開催 生涯を通じた女性の健康支援事業の一環として行っている東京都・不妊ホットラインの経験を活かしながら開催いたします。今回は相談のスキルアップに焦点をあて、相談事業を担当する実務者に役立つ実践的内容から不妊相談について考えてみたいと思います。</p> <p>1.期 日:平成16年3月17日(水)～18日(木) 2.会 場:アルカディア市ヶ谷私学会館(東京都千代田区九段北4-2-25 / TEL03-3261-9921) 3.参加者:125名 4.プログラム</p>	
22.(社)日本 家族計画協会		<p>平成16年3月17日(水) 9:00～9:25 受付 9:25～9:30 オリエンテーション 9:30～9:40 主催者挨拶 9:40～11:30 「不妊治療体験談～当事者のホンネ～」 不妊治療経験者2名 (9:40～10:00 Aさん / 10:00～10:20 Bさん) 10:20～10:30 休憩 10:30～11:30 「不妊の当事者に聞く」 進行:(社)日本家族計画協会クリニック所長 北村 邦夫</p> <p>11:30～12:30 昼食 12:30～13:50 「電話相談スキルアップ」 電話相談員 安達 優雅子 13:50～14:00 休憩 14:00～15:20 「面接相談スキルアップ」 東京メンタルヘルスアカデミー所長 武藤 清栄 15:20～15:30 休憩 15:30～16:30 本日のまとめ(質疑応答)</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		平成16年3月18日(木) 9:00～11:30 「知っておきたい不妊相談に必要な 基礎知識」 「知っておきたい不妊治療の現状と将来」慶応義塾大 学医学部産科婦人科学教室教授 吉村 泰典 11:30～12:30 昼食 12:30～13:30 「相談データの活かし方と 東京都・不妊ホットラインのデータ紹介」 (社)日本家族計画協会クリニック所長 北村 邦夫 13:30～13:40 休憩 13:45～14:45 ロールプレイ 「グループに分かれて、様々な相談事例にふれる 機会を持ちましょう」 14:45～16:00 質疑応答・まとめ 16:00～ 閉会	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
24.(社)日本看護協会	15.16.22.	<p>15.満足できる妊娠・出産への支援</p> <p>1.参加型妊産婦のトレーナーズ研修(看護教育・研究センター/清瀬・神戸)</p> <p>(目的)母親学級や育児指導などの保健指導を行なう担当者自らが持つ力を発見し、その力を魅力的な保健指導に活かすことが出来るような看護職を育成する。</p> <p>(内容)・ゲームエクササイズからの発見</p> <p>・参加型研修体験</p> <p>・役割、生き方、あり方の再考</p> <p>(日時)平成15年5月14日～16日<3日間>(清瀬)49名 平成16年2月16日～18日<3日間>(神戸)93名</p> <p>2.フリースタイル出産の援助技術(看護教育・研究センター)</p> <p>(目的)妊産婦のニーズに応え、個を尊重した安全で安楽な分娩を支援する具体的な援助法を学ぶ</p> <p>(内容)・アクティブバースにおける看護職の役割</p> <p>・分娩時ルチンワークの見直し</p> <p>・医療施設におけるアクティブバース</p> <p>・フリースタイル出産の技術演習</p> <p>(日時)平成15年6月19日～20日<2日間>(清瀬)110名</p> <p>16.産後うつ病を含む心のケア</p> <p>1.母子のメンタルヘルスケア(神戸研修センター)</p> <p>(目的)妊産婦ならびに育児中の母親のメンタルヘルスを学ぶとともに、母子保健に携わる看護職および他の専門職、関係機関と連携を図るための知識を得る。</p>	<p>15.満足できる妊娠・出産への支援</p> <p>1.参加型妊産婦のトレーナーズ研修(日本看護協会看護教育・研究センター)</p> <p>(目的)母親学級や育児指導などの保健指導を行なう担当者自らが持つ力を発見し、その力を魅力的な保健指導に活かすことが出来るような看護職を育成する。</p> <p>(内容)・ゲームエクササイズからの発見</p> <p>・参加型研修体験</p> <p>・役割、生き方、あり方の再考</p> <p>(日時)平成16年10月12日～14日<3日間> 定員50名</p> <p>2.フリースタイル出産の援助技術(日本看護協会看護教育・研究センター/研修センター)</p> <p>(目的)妊産婦のニーズに応え、個を尊重した安全で安楽な分娩を支援する具体的な援助法を学ぶ</p> <p>(内容)・アクティブバースにおける看護職の役割</p> <p>・分娩時ルチンワークの見直し</p> <p>・医療施設におけるアクティブバース</p> <p>・フリースタイル出産の技術演習</p> <p>(日時)平成16年 8月 9日～10日<2日間>(清瀬) 定員50名 平成16年11月25日～26日<2日間>(清瀬) 定員50名 平成16年 6月 3日～4日<2日間>(神戸) 定員50名</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
24.(社)日本看護協会		<p>(内容)・妊産褥婦の心理とケア ・乳幼児の発育と育児支援 ・精神科疾患を持つ妊産褥婦のケア ・周産期の死を経験した両親へのメンタルヘルスケア ・地域におけるメンタルヘルスケア (日時)平成15年12月10日～12日<2日間>(神戸)参加者100名 22.不妊治療を受ける際の環境整備と関係者の資質向上(カウンセリングなどの提供等) 1.不妊看護認定看護師の育成(神戸研修センター) (目的)専門的知識のもとに、不妊の問題を抱えたカップルに対して適切なアセスメントや、エビデンスに基づくケアの実施など、卓越した実践能力を基盤として、看護職に対する相談・指導の役割を担うための認定看護師を育成する。 (内容)リプロダクティブヘルス理論・不妊の基礎知識・不妊症の診断・不妊症の治療・社会現象としての不妊・不妊看護概論・不妊看護援助論・不妊看護援助論・不妊看護のマネージメント ほか (定員)12名 (期間)6ヶ月(平成15年10月～平成16年3月) 2.生殖医療と不妊看護の役割(神戸研修センター) (目的)現代の生殖にかかわる諸問題を、今後の医療の進歩と倫理的課題を含めて理解し、看護職が不妊に対して果たす役割を考える。 (内容)・生殖医療の動向 ・生命倫理・出生前診断 ・自己決定のための支援 ・不妊看護 (日時)平成15年6月26日～27日<2日間>(神戸)107名</p>	<p>16.産後うつ病を含む心のケア 1.母子のメンタルヘルスケア(日本看護協会神戸研修センター) (目的)妊産婦ならびに育児中の母親のメンタルヘルスを学ぶとともに、母子保健に携わる看護職および他の専門職、関係機関との連携を図るための知識を得る。 (内容)・妊産褥婦の心理とケア ・乳幼児の発育と育児支援 ・精神科疾患を持つ妊産褥婦のケア ・周産期の死を経験した両親へのメンタルヘルスケア ・地域におけるメンタルヘルスケア (日時)平成16年下半期(日程未定)<3日間>定員150名 22.不妊治療を受ける際の環境整備と関係者の資質向上(カウンセリングなどの提供等) 1.不妊看護認定看護師の育成(日本看護協会神戸研修センター) (目的)施設において、不妊の問題を抱えたカップルに対して適切なアセスメントを行い、全人的なケアを実施し、その卓越した実践能力を基盤として、他の看護職に対する相談・指導を担う能力を育成する。 (内容)リプロダクティブヘルス理論・不妊の基礎知識・不妊症の診断・不妊症の治療・社会現象としての不妊・不妊看護概論・不妊看護援助論・不妊看護援助論・不妊看護のマネージメント ほか (定員)20名 (期間)6ヶ月(平成16年10月～平成17年3月)</p>
24.(社)日本看護協会			<p>2.生殖医療と不妊看護の役割(日本看護協会神戸研修センター) (目的)生殖にかかわる医療の進展と倫理的課題について不妊看護の果たす役割を考える。 (内容)・生殖医療の動向 ・生命倫理・出生前診断 ・自己決定のための支援 ・不妊看護 (日時)平成16年5月13日～14日<2日間>定員150名</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
26.(社)日本産科婦人科学会	2.3.6.8.9.10.女性の健康支援	<p>上記テーマを中心に各地方部会にて公開講座を実施した。</p> <p>開催地 開催日 会場 テーマ 参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道 11/12 旭川グランドホテル 女性がいつまでも美しくあるために-中高年女性の健康を考える- 98名 ・青森 9/28 下北文化会館 女性の健康を考える 114名 ・岩手 11/1 宮古シティホテル 性教育を考える 54名 ・山形 12/5 山形テルサ あなたが子宮がん検診で異常ありといわれたら・・・? 50名 ・栃木 11/21 獨協医科大学 第3回思春期医学懇話会 100名 ・埼玉 1/31 志木市ふれあいプラザ 若年女性のための健康講座 37名 ・千葉 2/21 千葉市女性センター 学校保健と産婦人科～産婦人科専門校医(相談医)の充実のために～ 125名 ・長野 12/6 若里市民文化ホール(長野市) 若者の性が危ない 450名 ・静岡 3月 県下中学校(3校) 産婦人科医による教育現場における性教育出張講座 学校行事(生徒,教師,PTA) ・富山 1/24 富山国際会議場大手町フォーラム 思春期から考える性の健康 450名 ・石川 10/19 金沢シティモンドホテル 若者に蔓延する性感染症 115名 ・岐阜 10/25 岐阜会館 女性の日常生活と健康管理 96名 ・大阪 12/3 大阪リサイタルホール 女性の健康とたばこ・ホルモン 180名 ・奈良 2/21 奈良県医師会館 女性のための健康講座 40名 ・和歌山 7/8 医大講堂 中高年健康セミナー 200名 	<p>2.3.4.8.9.14.15.女性の健康支援</p> <p>平成16年度地方部会担当公開講座予定</p> <p>開催地 開催日 会場 テーマ 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道 詳細検討中 ・青森 9/25 黒石市(スポカルン黒石) 女性の健康を考える ・岩手 北上市 10-11月開催予定 ・山形 詳細検討中 ・茨城 11/6 茨城県医師会館 検討中 ・栃木 7/10 栃木県総合文化センター 今、摂食障害を再考する ・埼玉 1-2月頃開催予定 ・千葉 詳細検討中 ・神奈川 詳細検討中 ・静岡 県下中学校 教育現場における性教育出張講座 3月予定 ・富山 富山国際会議場 詳細検討中 ・石川 6/26 勤労者会館 女性の健康を守る ・岐阜 10/23 長良川国際会議場 抗がん剤の副作用にたち向かって長生きしよう ・滋賀 検討結果:7月頃 ・大阪 女性のQOL向上を目指して ・奈良 奈良県医師会館 2月開催予定 ・和歌山 6/26 医大講堂 体にやさしい治療をもとめて ・鳥取 米子市福祉保健総合センター 女性の健康を考える 10月頃開催予定

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
26.(社)日本産科婦人科学会		・鳥取 5/21 鳥取県医師会館 女性の健康を考えるー性感染症と子宮頸癌 90名 ・島根 6/7 大東町民体育館 女性のための健康講座 180名 ・岡山 11/1 岡山国際会議場 中高年を健やかに美しく 51名 ・徳島 3/27 新聞放送会館 女性がんの早期発見のために 161名 ・香川 11/1 社会福祉総合センター 子宮癌なんてこわくない 80名 ・愛媛 11/3 愛媛県医師会館 第17回性教育セミナー 92名 ・高知 7/6 高知市文化プラザ 女性のための健康講座ー生理痛、子宮内膜症、不妊症を考えましようー 70名 ・佐賀 1/10 アバンセ 女性健康講座～性感染症の予防～ 155名 ・熊本 3/6 つるやホール 女性の健康シリーズ9 156名 ・宮崎 8/23 宮崎県医師会館大ホール 性教育と感染症 139名	・島根 詳細検討中:12-3月開催予定 ・岡山 詳細検討中 ・徳島 お産に関する内容 3月頃開催予定 ・香川 11/20 社会福祉総合センター みずみずしいお肌と健康を維持する ・愛媛 愛媛県医師会館 第18回性教育セミナー 1月頃開催予定 ・高知 詳細検討中 ・福岡 12/4 詳細検討中 ・佐賀 2/5 アバンセ 中高年女性の健康講座(更年期、骨粗鬆症) ・熊本 2/26 つるやホール 検討中 ・宮崎 8/21 宮崎県医師会館 検討中 ・鹿児島 検討結果:8月末 ・沖縄 性感染症に関する内容 10-11月頃開催予定

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
36. 日本助産学会	15.20.22.	<p>15 満足できる妊娠・出産への支援</p> <p>次世代育成支援「いいお産」2003へブース参加</p> <p>・平成15年11月3日、日本教育会館で開催された、厚労省・(財)こども未来財団主催、健やか親子21推進協議会後援の次世代育成支援「いいお産の日」2003に参加、8Fネットワークの部屋にブースを出展し、妊娠・出産に関連した研究の紹介等を行った。</p> <p>また、「健やか親子21」の課題3「小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備」の「26:乳児のSIDS死亡の防止」に関連し、SIDS防止対策リーフレットを配布した。</p> <p>委員会活動</p> <p>・業務・教育検討委員会において、助産所における妊産婦と助産師の記録の共有化を図ることを目的に「助産師業務における情報開示」を検討した。本年度はキューザンドの母子管理記録を参考に妊産婦管理記録を作成し、助産所の管理者と妊産婦の両方にプリントとして使用してもらい、各種修正を行った。</p> <p>研究助成</p> <p>・平成15年度の委託研究は、「健やか親子21」の課題2に関連した研究課題について公募をした。ちなみに、学術奨励課題は、助産学の発展、助産実践の改善と開発、その他母子保健領域の学際的調査、研究等である。</p> <p>委託研究に4件、奨励研究に6件応募があり、検討の結果、委託研究助成(1件50万円)として、「妊産婦支援における産科医師と助産師のコラボレーション - 妊娠・出産の安全性と快適さを追求した病院の取り組み - 」と「不妊治療を受けている女性の悩みと対処パターンのモデル構築」の2件が採択された。</p> <p>学術奨励研究助成(1件30万円)として、「多胎児を持つ母親と家族への看護師縁 - 妊娠期からのピアサポートの試み - 」と「足浴による分娩促進作用 - 自律神経系に対する足浴の作用機序に関する基礎的研究」の2件が採択された。</p>	<p>15 満足できる妊娠・出産への援助</p> <p>研究助成</p> <p>本学会はわが国の助産学と母子保健の発展を図ることを目的に、毎年、学術奨励研究ならびに委託研究助成を行い、その成果を研究終了後広く公表している。平成15年度の委託研究は、「健やか親子21」の課題2に関連した研究課題について公募をした。ちなみに、学術奨励課題は、助産学の発展、助産実践の改善と開発、その他母子保健領域の学際的調査、研究等である。</p> <p>平成16年3月20日に応募を締め切り、委託研究助成1件、奨励研究15件の応募があった。本年度の採用予定は各2件合計4件で、現在審査中である。</p> <p>助成規模 学術奨励研究助成:30万円 / 1件 委託研究助成:50万円 / 1件</p> <p>委員会活動</p> <p>業務・教育検討委員会の課検討課題は一昨年度から継続して、妊産婦と助産師の情報や記録の共有化を図ることをねらいとした「助産師業務における情報開示」とする。本年度は修正した妊産婦管理記録を再度使用してもらい、妊産婦管理記録を完成させる予定である。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
36. 日本助産学会		<p>20 産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上 第6回世界周産期学会後援ならびに助産プログラム企画・運営協力 平成15年9月13～15日に大阪で開催される第6回世界周産期学会を後援し、国際委員会メンバーがプログラム委員として協力・運営した。9月14・15日には助産分科会が開催され、国際学会において助産学の発展ならびに助産師の質の向上、より良い助産ケアをめざした活発な国際交流がおこなわれた。</p> <p>ワークショップ開催 平成15年11月15日(土)9:30～16:00 参加者:のべ67名 会場:京都府立医科大学医学部看護学科第1講義室 基調講演:「ケアの質的向上のための助産学研究の進め方」 グループワーク:助産ケア実践の検証に関する研究(妊婦、産婦を対象とした) 助産ケア実践の検証に関する研究(褥婦/新生児・ハイリスク新生児を対象とした) 助産学教育に関する研究 育児における人間環境に関する研究</p>	<p>20 産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上 学術集会開催 第19回日本助産学会学術集会 会 期:平成17年3月19日(土)～20日(日) テーマ:出産・子育てを支える助産ケア:人と環境の視点から 学会長:宮中 文子(京都府立医科大学) 会 場:国立京都国際会館</p> <p>会長講演、特別講演、教育講演2題、シンポジウム1題、ワークショップ5題を企画中であり、また一般演題も広く募集する。詳細は本学会ホームページでも情報提供、随時更新していく予定である。 日本助産学会ホームページ http://www.square.umin.ac.jp/jam/</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
36. 日本助産学会		<p>学術集会開催 平成16年3月5日・6日 参加者：約600名 会場：東京大学安田講堂・学術総合センター メンテマ：「喜びとともに生まれる、その先の助産ケア。Joyful Midwifery with Women」 1) 会長講演： 「喜びとともに生まれる、その先の助産ケア。-女性と助産師の新しい関係-」 学会長 松岡 恵(東京医科歯科大学) 2) 招聘講演：「Joyful Midwifery」 Sandy Grey(ニュージランド助産師協会会長) 3) シンポジウム：「喜びにあふれた出産・育児のために」 4) ワークショップ その先の助産ケア - 連帯から生まれる母子の安全保証 その先の助産ケア - 国際協力に通じる助産師の能力とは その先の助産ケア - 母子相互作用の視点を毎日のケアに取り入れる その先の助産ケア - 自己理解を相手の理解と相互のエンパワメントにつなげる その先の助産ケア - 改めてエビデンスに基づいたアロマセラピーを学ぶ 5) 一般演題：口演51題・示説16題</p>	<p>ワークショップ開催 次期学術集会会長が学術集会を関連付けて、前年にワークショップを企画することになっている。本年度は、「健やか親子21」の目標達成に向けた企画を計画する予定である。詳細は本学会ホームページ、学会誌、ニューズレター等で広報する。</p> <p>学会誌発行 「日本助産学会誌」(ISSN0917 - 6357) 発行部数：各1,300部 第18巻第1号(平成16年6月)、第18巻第2号(平成16年12月)、第18巻第3号(平成17年3月)に発行予定である。</p> <p>ニューズレター発行 「日本助産学会ニューズレター」 発行部数：各1,300部 年3回、第44号、第45号、第46号を発行予定である。</p> <p>国際協力事業 本年度も国際助産師連盟(ICM)のセーフティ・ネット募金、スポンサー・ア・ミッドワイフ基金に協力し、募金活動を展開する。</p>
36. 日本助産学会		<p>学会誌発行 「日本助産学会誌」(ISSN0917 - 6357) 発行部数：各1,300部 第17巻第1号(平成15年6月) 第17巻第2号(平成15年12月) 第17巻第3号(平成16年3月) ニューズレター発行 「日本助産学会ニューズレター」 発行部数：各1,300部 第41号(平成15年6月) 第42号(平成15年10月) 第43号(平成16年2月) 国際協力事業 1) セーフティ・ネット基金への協力 国際助産師連盟(ICM)の趣旨に賛同し、随時、基金への協力を募っている。 2) スポンサー・ア・ミッドワイフ基金への協力 ICM大会開催時のスポンサーとして50万円を目標に募金活動を展開している。</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画																								
37.(社)日本助産師会	14.15.16.17.18.19.20.	<p>14)妊産婦死亡の防止,19)周産期医療ネットワークの整備と機能の向上に対して</p> <p>(1)「助産所における取扱い基準および急変時の対応のためのガイドライン」の普及(平成14年度厚生労働省科学研究「助産所における安全で快適な妊娠・出産環境の確保に関する研究」:青野班作成分)</p> <p>分娩を取り扱う全助産所へのガイドラインを機関誌(「助産師」Vol.58,No.1,2004)を通じて全会員(7200名)に周知した。</p> <p>関連専門団体との検討会の開催 産婦人科医・小児科医を含む17名の検討回を5回開催した。</p> <p>このガイドラインを基本に、本会・支部および助産所部会、役員会、本部役員会で検討したものを平成16年度総会で検討予定である。</p> <p>(2)助産所における安全性推進対策</p> <p>安全対策室の設置 毎週金曜日に無料相談室(来所・電話による)を開催し、平成15年9月～平成16年3月までに、電話37件、来所4件、計41件の相談があった。</p> <p>安全対策委員会活動 9回の委員会を開催し、助産所評価基準の検討等を行った。</p> <p>助産所機能評価基準の作成 安全対策委員会で作成し、平成16年度に有床助産所で自己評価表として活用予定である。</p> <p>(3)出産の安全性と快適性に関する研修会の開催</p> <table border="0"> <tr> <td>救急対応強化のための研修会</td> <td>60名</td> </tr> <tr> <td>自然分娩セミナー</td> <td>89名</td> </tr> <tr> <td>産科リスクマネジメント</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>アクティブバース研修会</td> <td>44名</td> </tr> <tr> <td>産科ME診断技法</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>開業セミナー</td> <td>35名</td> </tr> </table>	救急対応強化のための研修会	60名	自然分娩セミナー	89名	産科リスクマネジメント	22名	アクティブバース研修会	44名	産科ME診断技法	15名	開業セミナー	35名	<p>14)妊産婦死亡の防止,19)周産期医療ネットワークの整備と機能の向上に対して</p> <p>(1)平成16年度通常総会において決議した「助産所における取扱い基準および急変時の対応のためのガイドライン」の普及を図る。</p> <p>(平成14年度厚生労働省科学研究「助産所における安全で快適な妊娠・出産環境の確保に関する研究」:青野班作成分を基に本会で修正したもの)</p> <p>分娩を取り扱う全助産所への修正したガイドラインを助産所部会員に配布する。</p> <p>関連専門団体との連携を図る。</p> <p>(2)助産所における安全性推進対策</p> <p>安全対策室の充実 毎週金曜日に無料相談室(来所・電話による)事業を行う。</p> <p>支部安全対策委員会の設置推進および委員への研修を行う。</p> <p>助産所機能評価表の自己評価の推進を図る。</p> <p>会員の事故報告の義務化と事故者への教育研修を行う。</p> <p>助産所分娩の評価に関する調査の実施</p> <p>(3)出産の安全性と快適性に関する研修会の開催</p> <table border="0"> <tr> <td>救急対応強化のための研修会</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>自然分娩セミナー</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>産科リスクマネジメント</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>アクティブバース研修会</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>産科ME診断技法</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>開業セミナー</td> <td>1回</td> </tr> </table>	救急対応強化のための研修会	1回	自然分娩セミナー	3回	産科リスクマネジメント	1回	アクティブバース研修会	1回	産科ME診断技法	1回	開業セミナー	1回
救急対応強化のための研修会	60名																										
自然分娩セミナー	89名																										
産科リスクマネジメント	22名																										
アクティブバース研修会	44名																										
産科ME診断技法	15名																										
開業セミナー	35名																										
救急対応強化のための研修会	1回																										
自然分娩セミナー	3回																										
産科リスクマネジメント	1回																										
アクティブバース研修会	1回																										
産科ME診断技法	1回																										
開業セミナー	1回																										

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
37.(社)日本助産師会		<p>15)満足できる妊娠・出産への支援に対して (1)全国6地区でブロック研修会を開催し、合計920名の参加があった。</p> <p>16)産後うつ病を含む心のケア促進に対して (1)支部を通して市町村に産後ケア事業の推進に関する要望書を出す等、産後ケア事業を推進した。 18)母性健康管理指導事項連絡カードの普及・啓発に対して (1)研修会等での啓蒙に努めた。</p> <p>20)産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上に対して (1)厚生労働省・文部科学省等関係機関への要望を行った。</p>	<p>15)満足できる妊娠・出産への支援に対して (1)全国6地区でブロック研修会を開催する。 (2)パースプラン普及等、出産環境の整備を図る。</p> <p>16)産後うつ病を含む心のケア促進に対して (1)支部を通して市町村に産後ケア事業の推進に関する要望書を出す等、産後ケア事業を推進する。 18)母性健康管理指導事項連絡カードの普及・啓発に対して (1)研修会等での啓蒙に努める。</p> <p>20)産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上に対して (1)厚生労働省・文部科学省等関係機関への要望を行う。</p>
38.日本性感染症学会		<p>20.産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上 性感染症 診断・治療ガイドライン2004年版を作成するため、準備作業を行っている。</p>	<p>20.産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上 性感染症 診断・治療ガイドライン2004年版を作成し、当学会の会員に送付し、また、一般にも頒布して、性感染症の診断・治療のレベルの向上に努める。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
39. 日本赤十字社	14.15.16.17.18.19.20.23.24.25.29.30.36.50.52.53.60.61.62.	<p>テーマ14,15,16,17,18,23,24,25,29,30,50,52,60,61,62</p> <p>* 母親学級: 全国で73の赤十字病(産)院にて実施 テーマ14,15,16,17,18,23,24,25,29,30,50,52,60,61,62</p> <p>* 妊産婦健康相談: 全国で58の赤十字病(産)院にて実施 テーマ14,15,18,23,61</p> <p>* 無痛分娩講習会: 全国で16の赤十字に病院にて実施 ~ について、「母子保健医療推進の認識の醸成に努めるとともに自治体等との連携を図りながら、赤十字病院として実施可能な事項についてさらなる推進について取り組むこと。」を念頭に「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の課題について、上記の多数のテーマを総合的に、妊娠から出産・産後における身体・心のケアを助産師・看護師・医師を中心に多くの赤十字病院にて実施した。</p> <p>テーマ14,15,19,23,24,25,26,36,53,60</p> <p>* 総合周産期母子医療センター: 全国で7の赤十字病院に設置</p> <p>* 地域周産期母子医療センター: 全国で10の赤十字病(産)院に設置</p> <p>* 新生児特定集中治療管理室: 全国で32(396床)の赤十字病(産)院に設置 について、出産前後の母体及び胎児並びに新生児の一貫した診療・管理等を行った。</p> <p>テーマ20</p> <p>* 日本赤十字社助産師学校(広尾・大阪): 平成15年度免許取得者35名 について、助産師の確保と養成・資質の向上等を図った。</p>	<p>テーマ14,15,16,17,18,23,24,25,29,30,50,52,60,61,62</p> <p>* 母親学級 テーマ14,15,16,17,18,23,24,25,29,30,50,52,60,61,62</p> <p>* 妊産婦健康相談 テーマ14,15,18,23,61</p> <p>* 無痛分娩講習会 ~ について、「母子保健医療推進の認識の醸成に努めるとともに自治体等との連携を図りながら、赤十字病院として実施可能な事項についてさらなる推進について取り組むこと。」を念頭に、15年度に引き続き「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の課題について、上記の多数のテーマを総合的に、妊娠から出産・産後における身体・心のケアを助産師・看護師・医師を中心に実施すること。</p> <p>テーマ14,15,19,23,24,25,26,36,53,60</p> <p>* 総合周産期母子医療センター : 全国で7の赤十字病院に設置</p> <p>* 地域周産期母子医療センター : 全国で10の赤十字病(産)院に設置</p> <p>* 新生児特定集中治療管理室 : 全国で32(396床)の赤十字病(産)院に設置 について、出産前後の母体及び胎児並びに新生児の一貫した診療・管理等を行うこと。</p> <p>テーマ20</p> <p>* 日本赤十字社助産師学校(広尾) について助産師の確保と養成の推進・資質の向上等を引き続き行うこと。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
44. 日本母性衛生学会	14.15.16.19.20.21.22.60.	妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援 学会誌での取組 15 満足できる妊娠・出産への支援 *「母性衛生」44巻1号 妊娠期の夫の身体的・心理的变化(田中恵子) つわり症状に対する心理的および生理学的アプローチ(加古垂沙子他) 女性が出産に望むこと - 助産院での調査より - (鈴木敬子他) 「母性衛生」44巻2号 妊娠・出産が母親の心理に及ぼす影響 - 夫からのサポートに着目して - (脇田満里子他) 出産体験の満足に関連する要因について(中野美佳他) 分娩第1期消化器症状と分娩経過の関連ならびにその発現に及ぼす心理的因子の影響(北本佳文他) 「母性衛生」44巻4号 日本の麻酔分娩の実態とその問題点(大石時子他) 分娩直後のカンガルーケアに関する研究(嶋良子他) 16 産後うつ病を含む心のケアの促進 「母性衛生」44巻1号 産後のうつ状態と母子相互作用についての縦断的研究(その1) - マタニティ ブルーズと産後のうつ状態の頻度と背景要因の検討 - (佐藤文他) *「母性衛生」44巻2号 産後のうつ状態と母子相互作用についての縦断的研究(その2) - 産後のうつ状態が母子相互作用に及ぼす影響について - (佐藤文他) 「母性衛生」44巻4号 ・胎児異常を告知された女性の妊娠期の体験に関する研究(安部いずみ)	14,15,16,17,18,19,20,21,22 妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援 学会誌での取組 年4回発行予定の学会誌「母性衛生」での取組を推進する。 総会・学術集会での取組 本年度第45回日本母性衛生学会学術集会において下記の講演を実施し、これらのテーマについて会員の理解と対策を深めるとともに、総合討論を行い検討考察する。 予定参加人数 約2000名(医師・助産師・看護師・保健師など) 開催 第45回日本母性衛生学会学術集会 期日 平成16年9月16・17日 場所 東京都 京王プラザホテル 会長講演 テーマ：医療訴訟事案から見た安全かつ快適な分娩への対応 講師：木下勝之学会長(順天堂大学医学部産科婦人科学教授) 16 産後うつ病を含む心のケアの促進 教育講演 テーマ：産褥うつ病:看護スタッフによる診断と治療 講師：北村俊則先生(熊本大学医学部精神医学教授)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
44. 日本母性衛生学会		19 周産期医療ネットワークの整備と機能の向上 「母性衛生」44巻1号 NICU入院を経験した患児をもつ両親への意識調査(第1報) - 医療に対する 父母の満足 - (宮崎つた子他) NICU入院を経験した患児をもつ両親への意識調査(第2報) - 親の心理的特性 - (宮崎つた子他) 20 産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上 「母性衛生」44巻1号 助産師の実践能力に関する自己評価(井上松代他) 助産師の自己効力感(Self-Efficacy)および仕事の満足感に関する研究(加藤尚美) 21 不妊専門相談センターの整備と機能の向上 「母性衛生」44巻1号 ・当院産婦人科外来における「女性のなやみ相談室」9年間の検討(小笠麻紀他) 22 不妊治療を受ける際の環境の整備と関係者の資質の向上 「母性衛生」44巻1号 不妊治療後に妊娠・出産した女性の心理 - 8事例の面接調査の分析結果から - (大槻優子) 「母性衛生」44巻4号 ・生殖医療に関する慢性疾患患者・医師・看護師の意識差(平岡敬子他) 60 栄養・食生活の改善 「母性衛生」44巻4号 ・妊娠から産後を通じた体重の変化と食事内容の追跡調査(中川光子他)	テーマ：妊婦の心のケア - のために必要な精神的技術の習得と成果 講師：吉田敬子先生(九州大学医学部小児科講師) 19 周産期ネットワークの整備と機能の向上 教育講演 テーマ：産科救急と地域周産期ネットワークの実際とこれから 講師：竹田省(埼玉医大総合医療センター産婦人科教授) シンポジウム テーマ 安心して出産できる医療と社会環境の整備をいかにすすめるか (少子化に対する取り組み) 不妊症カップルへの対応 不育症カップルへの対応 働く女性の妊娠出産育児の支援 保育所の問題点と対策 上記4つの課題をシンポジウムで取り上げ総合討論する。 シンポジウム テーマ 助産所の安全と快適性いかに確保するか シンポジウム テーマ 地域と施設の違いによる助産師の役割と今後の課題

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
44. 日本母性衛生学会		<p>2. 総会・学術集会での取組 参加人数 約2000名(医師・助産師・看護師・保健師など) 開催 第44回日本母性衛生学会学術集会 期日 平成15年10月9・10日 場所 栃木県宇都宮市栃木県総合文化センター</p> <p>14. 妊産婦死亡の防止 19. 周産期医療ネットワークの整備と機能の向上 「目的」 上記のテーマについて栃木県の周産期医療を中心に講演された。 「効果」 会長講演(会長佐藤郁夫)において周産期医療の現況と課題が示された。</p> <p>14. 妊産婦死亡の防止 「目的」 上記のテーマについて何をすべきか考察する。 「効果」 講演(ケニア保健省地域保健専門家荒堀憲二)においてケニアの妊産婦死亡率を巡る国際支援の輪と日本的助産への期待について提言された。</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
44. 日本母性衛生学会		<p>15. 満足できる妊娠・出産への支援 上記のテーマについて堀内勤先生（聖マリアンナ医科大学小児科学教授）より教育講演においてカンガルーケアが紹介された。また、NPO法人お産サポートJAPANと題して茅島江子先生（東京慈恵会医科大学看護学科教授）よりワークショップにおいて良い出産環境について論説があった。</p> <p>妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援 シンポジウム「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保」を取り上げ 産科医師の立場から 開業助産師の立場から センター病院産科医師の立場から センター病院助産師の立場から シンポジスト三宅 馨、斎藤悦子、朝倉啓文、赤山美智代先生を中心に総合討論を行った。 シンポジウムの要旨は、本学会機関紙「母性衛生」44巻4号（2003年）に掲載した。</p> <p>21.22 シンポジウム「不妊・不育患者の支援」を取り上げ 不妊に悩む夫婦の展望 不妊夫婦支援の看護職のあり方 不妊夫婦への支援の実際 不妊夫婦への支援 不妊治療の目指すべきもの 不育症に対する精神的支援 シンポジスト赤城恵子、柴田文子、安部裕司、黒田優桂子および杉浦真弓先生を中心に総合討論を行った。</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
45.(社)日本産婦人科医会	14.15.16.18.19.20.21.	<p>14 妊産婦死亡の防止</p> <p>1. 全国妊産婦死亡実態調査を継続して実施した。</p> <p>15 満足できる妊娠・出産への支援</p> <p>1. 「健やか親子21推進協議会」・課題2「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の幹事団体として運動推進を協議した。</p> <p>2. 出生前小児保健指導(プレネイタル・ビジット)事業の推進</p> <p>出生前小児保健指導(プレネイタル・ビジット)事業について、都道府県支部での実施状況、指導要項等について検討を行った。</p> <p>3. 新生児聴覚スクリーニング検査について</p> <p>厚生労働科学研究「全出生児を対象とした新生児聴覚スクリーニングの有効な方法及びフォローアップ、家庭支援に関する研究」班の協力により、新生児聴覚スクリーニングのfalse negativeについて、日本産婦人科医会報、ホームページに掲載し、新生児聴覚検査の精度管理および意義について広報を行った。</p> <p>4. 平成13年度からの継続事業として行っている厚生労働省雇用均等・児童家庭局長から委託された、労働者数50名未満の事業所で働く事業主および女性労働者を対象とした母性健康管理に関する電話相談事業を実施した。</p> <p>5. 下記の講演会に出席し講演等を行った。</p> <p>1) 第24回これからの母子保健を考えるシンポジウム「育児を支える」を後援。 (平成15年12月5日・東京都児童会館)</p> <p>2) 平成15年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究推進事業公開シンポジウム「こどもが健やかに育つために～手をつなぐ地域と家庭～」</p>	<p>14 妊産婦死亡の防止</p> <p>1. 全国妊産婦死亡実態調査を実施し、経年的な傾向の変化を検討する。さらに問題点を抽出し、妊産婦死亡率の減少に向けた啓発活動を行う。</p> <p>15 満足できる妊娠・出産への支援</p> <p>1. すこやか親子21推進協議会・課題2「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の幹事団体として運動を推進する。</p> <p>2. 出生前小児保健指導(プレネイタル・ビジット)事業の推進</p> <p>各支部での活動状況の実態を調査し、有効な活動方法を継続して検討する。</p> <p>また、平成16年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究」の一環として、調査を継続する。</p> <p>3. 新生児聴覚スクリーニング検査の正しい普及に努め、全国的なスクリーニングの確立に努める。</p> <p>4. 厚生労働省雇用均等・児童家庭局長から委託された、労働者数50名未満の事業所で働く事業主および女性労働者を対象とした母性健康管理に関する電話相談事業を実施する。</p> <p>16 産後うつ病を含む心のケアの促進</p> <p>1. 昨年度実施した「妊娠・育児に関するカウンセリング機関」についての全国調査を集計。 home pageに掲載する予定。</p> <p>18 母性健康管理指導事項連絡カードの普及・啓発</p> <p>1. 当会会員を通じ、継続して啓発に努める。(本会home pageに掲載。)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
45.(社)日本産婦人科医会		演題「分娩の快適性確保のために忘れてはならないこと；日本産婦人科医会の役割」 シンポジスト：田中政信常務理事（平成16年2月24日・労働スクエア東京） 16 産後うつ病を含む心のケアの促進 1. 妊婦・産褥婦のメンタルケアの対応可能な機関について、「妊娠・育児に関するカウンセリング機関全国調査」を実施し、情報を収集した。 18 母性健康管理指導事項連絡カードの普及・啓発 1. 「母性健康管理指導事項連絡カード」について、本会 home pageに掲載し周知をはかるとともに、全会員に広報用ポスターを配付し普及の啓発に努めた。 19 周産期医療ネットワークの整備と機能の向上 1. 平成15年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究」の中で分担研究として、産科リスクを軽減する体制について（産科オープンシステムについて）研究を実施した。 2. 総合周産期母子医療センター設置の推進のため、現在設置数の把握し、施設基準の改正を提言した。 20 産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上 1. 平成15年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究」の中で分担研究として、産科リスクを軽減する体制について（産科オープンシステムについて）研究を実施した。 21 不妊専門相談センターの整備と機能の向上 1. 不妊専門相談センター設置の推進のため、現在設置数の把握。	19 周産期医療ネットワークの整備と機能の向上 1. 平成16年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究」に関連して、（セミ）オープンシステムの充実に向けて、調査・研究を行う。 2. 全国的な新生児聴覚スクリーニング検査について、継続して検討を行う。 3. NICUの実態調査について 近年の生殖補助医療の進歩による多胎児の増加や長期入院児の増加などによるNICUベッド回転率の低下と、NICU入院児をかかえる家族の育児負担、精神的負担、経済的負担が社会的問題化していることにより、その実態調査を行った。本年度は、その解析を行い新生児医療システムについて検討する。 4. 総合周産期母子医療センター設置の推進。地域毎の充足率の把握に努める。 5. 早産防止に関する研究 周産期の児の予後を改善する目的で、早産予防に関する多施設前向き研究を開始し児の周産期予後の改善点の把握に努める。 （会長は当医会の岡井常務理事、世話人として朝倉、田中両常務理事が参加。）
45.(社)日本産婦人科医会			20 産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上 1. 平成16年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究」に関連して、（セミ）オープンシステムの実態調査・研究を行う。 21 不妊専門相談センターの整備と機能の向上 1. 不妊専門相談センター設置の推進のため、現在設置数の把握に努める。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
46. 日本母乳の会	15.16.母子同室・母乳育児の推進、	15. 満足できる妊娠出産への支援、16. 産後うつ病を含む心のケアの促進、 母子同室・母乳育児の推進 ・第12回母乳育児シンポジウムの開催 目的: 母子同室・母乳育児の推進のために広く深く理解をしていただく 参加人数: 1500名(産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、母親、父親等) 開催数、方法: 年1回、京都市、京都国際会議場 効果: 母乳育児の広がりを見せている。 シンポジウム実行委員会の開催 目的: シンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議。 参加人数: 40 50名、月1回開催 効果: 多くの方と論議をしながら、シンポジウムを作り上げていくので、関西地区の母乳育児が広がりを見せている。 北京都母乳の会の発足 ・ワークショップの開催 目的: 母乳育児の理解を深めるために、医療者の少人数によるワークショップ 参加人数: 約80名 開催数、方法: 年2回、10月福島県で開催 効果: 東北地区の母乳育児の広がり、山形県母乳育児を応援する会の発足	・第13回母乳育児シンポジウムの開催 目的: 母子同室・母乳育児の推進のために広く深く理解をしていただく 参加人数: 1500名(産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、母親、父親等) 開催数、方法: 年1回、福岡市、ホテルシーホーク&リゾート 効果: 母乳育児の広がりを見せている。 ・九州シンポジウム実行委員会の開催 目的: シンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議。 参加人数: 40 50名、月1回開催 効果: 多くの方と論議をしながら、シンポジウムを作り上げていくので、関西地区の母乳育児が広がりを見せていく。 ・ワークショップの開催 目的: 母乳育児の理解を深めるために、医療者の少人数によるワークショップ 参加人数: 約80名 開催数、方法: 年1回、10月三重県で開催 効果: 東北地区の母乳育児の広がり、山形県母乳育児を応援する会の発足 ・「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定業務 目的: WHO・ユニセフの母乳育児推進としてのBFH認定。 効果: 母乳育児推進の地域的な中心ができる

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
46. 日本母乳の会		<p>・「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定業務 目的：WHO・ユニセフの母乳育児推進としてのBFH認定。 森下産婦人科医院、横浜市立大学医学部附属総合市民医療センター、 あわの産婦人科医院、熊本市立熊本市民病院、総合病院北見赤十字病院の5施設の認定申請。 効果：母乳育児推進の地域的な中心ができる ・全国「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」連絡会議の開催 目的：BFH認定の30施設の現状報告、取り組み。 参加人数：約80名 効果：お互いの情報交換ができ、地域に広がりをもたらしている ・各地の母乳の会、および、母親グループへの講師派遣や支援 目的：地域の母乳の会、母親たちへの支援 東京、大阪、兵庫、岐阜、愛知、島根、かながわ、宮城、岩手、山形、千葉など ・BFH申請希望病院への講演・研修会 山形、宮城、兵庫、福岡、青森 目的：BFH認定のための院内スタッフの研修 効果：BFH認定申請の増加 ・第10回母乳育児シンポジウム記録集発行、販売 目的：シンポジウムの記録、および広報活動の一環として 2000部作成、会員配布、各地の母乳の会、関連学会において販売 効果：シンポジウム参加者の増加</p>	<p>・各地の母乳の会、および、母親グループへの講師派遣や支援 目的：地域の母乳の会、母親たちへの支援 ・BFH申請希望病院への講演・研修会 目的：BFH認定のための院内スタッフの研修 効果：BFH認定申請の増加 ・第11回、第12母乳育児シンポジウム記録集発行、販売 目的：シンポジウムの記録、および広報活動の一環として 2000部作成、会員配布、各地の母乳の会、関連学会において販売 効果：シンポジウム参加者の増加 ・WHO「10カ条のエビデンス」翻訳、発行 目的：母乳育児成功のための10カ条を実践し、BFH認定のために、医療者のためのガイドブックの発行 効果：BFH病院の増加</p>
46. 日本母乳の会		<p>・小冊子「離乳食」の増刷 目的：母乳育児継続のために離乳食への医療者、母親への理解を深める 効果： ・母親グループの講演会への支援 目的：母親たちへの母乳育児支援 効果：母親たちの母乳育児への教育 小児科医の母乳育児アンケート調査、全国保健センターにおける母乳育児意識のアンケート調査 子ども家庭総合研究として 目的：小児科医、保健センターに対する母乳育児意識調査</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
47.(社)日本 薬剤師会	15	<p>15.満足できる妊娠・出産への支援 薬剤師に対する「妊娠と薬」に関する基礎知識の普及 目的:妊婦・授乳婦より質問・相談を受ける立場にある薬局・病院の薬剤師に対して「妊娠と薬」に関する基礎知識を改めて普及させるため、会員(約10万)を対象に発行している日本薬剤師会雑誌(平成15年12月号)に「妊娠と薬」に関するQ & A形式の論文を掲載。 効果:妊婦・授乳婦から相談を受ける薬剤師の「妊娠と薬」に関する基礎知識の習得・充実</p>	<p>15.満足できる妊娠・出産への支援 「妊娠と薬」、「授乳と薬」(仮称)などパンフレットの作成・配布(新規) 目的:妊娠前、妊娠中、授乳中の女性や子供を持つ親に対して、薬の安全な使用方法、薬の安全な服用方法、薬についての疑問・不安、誤飲防止、たばこが胎児に及ぼす影響、かかりつけ薬局の重要性等について情報提供を行うためのパンフレットを作成し、薬局等を通じて広く配布する。</p>
49.(財)母子 衛生研究会		<p>「健やか親子21」課題1～4に関すること全般 *「母子保健指導者研修会」の実施 目的:母子保健に関する正しく且つ新しい情報の伝達。 参加人数(対象者):10,500名(行政担当者、保健師、助産師、栄養士、保育士、その他母子保健・児童福祉関係者) 開催数、方法等:46回(厚生労働省、開催地区自治体、関係団体等の後援にて開催) 全国都道府県で実施 効果、その他:妊婦や育児中の母親と直接接する関係者に最新情報を提供することで、育児不安や虐待等母子保健が直面している問題の一助となることが期待される。 *「これからの母子保健を考えるシンポジウム」の実施 目的:母子保健の懸念されている事柄について、問題提起とその対応について考える。 参加人数(対象者):350名(行政担当者、保健師、助産師、栄養士、保育士、その他母子保健・児童福祉関係者) 開催数、方法等:1回(厚生労働省、関係団体等の後援にて開催) 東京都で実施 効果、その他:各方面の専門家の意見を聞くことで、問題がより明白となり、多角的に問題に取り組めることが期待される。</p>	<p>「健やか親子21」課題1～4に関すること全般 *「母子保健指導者研修会」の実施 参加人数:10,500名(行政担当者、保健師、助産師、栄養士、保育士、その他母子保健・児童福祉関係者)を予定。 開催数、方法等:47回(全国都道府県で実施予定) *「これからの母子保健を考えるシンポジウム」の実施 参加人数:350名(行政担当者、保健師、助産師、栄養士、保育士、その他母子保健・児童福祉関係者)を予定 開催数、方法等:1回(東京都で実施予定)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
49. (財)母子衛生研究会	14.15.16.18.	<p>14～16、18等 妊娠・出産・育児全般に関すること</p> <p>* 母子保健教室等を実施</p> <p>目的:妊娠・出産・育児についての基本的な知識、情報を伝え快適で充実した妊娠・出産・育児期を過ごす。</p> <p>参加人数:15,000名(妊婦)</p> <p>開催数:77回(全国5地区)</p> <p>効果、その他:妊娠中の生活管理、行政サービスなどについて専門家の指導・助言が得られる。</p> <p>*パンフレットの作成・配布</p> <p>目的:妊娠・出産・育児についての基本的な知識、情報を得ることにより、快適で充実した妊娠・出産・育児期を過ごすことをねらいとした母子健康手帳の副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」を作成し、配布する</p> <p>配布対象者:関係機関(地方自治体等)を通じて妊娠届出者に配布</p> <p>配布部数:1,500,000部</p> <p>効果、その他:母子健康手帳の活用がよりいっそうはかられ、妊娠中や育児期の母子の生活管理、行政サービスなどについての基本的な知識が得られる。</p>	<p>14、15、16、18等 妊娠・出産・育児全般に関すること</p> <p>* 母子保健教室等を継続実施</p> <p>参加人数:16,000名(妊婦)程度を予定</p> <p>開催数:81回(全国5地区)程度を予定</p> <p>*パンフレットの作成・配布(継続実施)</p> <p>母子健康手帳副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」</p>
59.性と健康を考える女性専門家の会	15	<p>15.満足できる妊娠・出産への支援</p> <p>2)出版物の発行(北海道支部)</p> <p>女性が生き生き暮らしていくために『ママになるとき』</p> <p>内 容 a.自分らしいお産を考えよう b.無痛分娩</p> <p>c.ママとベビーのための検診</p> <p>発 行 平成15年7月(頒価500円) 1)講演会を実施(北海道支部)</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
61. 日本糖尿病・妊娠学会	15	<p>満足できる妊娠・出産への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠糖尿病に関するスクリーニングと妊娠糖尿病にかかった人の分娩後の糖尿病への進展率のフォローアップスタディ。 ・糖尿病妊婦から生まれた奇形児を少なくするため計画妊娠を励行させる。 ・特に我が国では若年者の糖尿病でも欧米と異なり2型糖尿病が多く、見逃されることが多いので、妊娠前から糖代謝異常のチェックを行う必要性を知ってもらおう努力を行う。 <p>3) 学術集会 2003年10月24日・25日開催、新潟市民プラザ 約400名参加 概要 1) 特別講演:「糖尿病性腎症の予防と治療戦略」(下条文武) 2) 招聘講演:「Obesity and diabetes in the offspring of women with diabetes during pregnancy」(David J Pettitt) 3) シンポジウム:「糖尿病をもった女性の計画妊娠・健やかな妊娠・出産に向けて」(座長:中林正雄、岩本安彦) 4) ランチョンセミナー:「糖尿病と性差」(後藤由夫) その他 学会誌「糖尿病と妊娠」3巻を発行。 日本糖尿病・妊娠学会のホームページを随時更新する。 (http://www.dm-net.co.jp/jsdp/main.html)</p>	<p>満足できる妊娠・出産への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠糖尿病に関するスクリーニングと妊娠糖尿病にかかった人の分娩後の糖尿病への進展率のフォローアップスタディ。 ・糖尿病妊婦から生まれた奇形児を少なくするため計画妊娠を励行させる。 ・特に我が国では若年者の糖尿病でも欧米と異なり2型糖尿病が多く、見逃されることが多いので、妊娠前から糖代謝異常のチェックを行う必要性を知ってもらおう努力を行う。 <p>4) 学術集会 2004年12月10日・11日開催、国立京都国際会館 約400名参加予定 概要 1) 特別講演:「肥満2型糖尿病の栄養治療・栄養素による遺伝子発現調節の面から」(柏木厚典) 2) 招聘講演:「Mechanism of diabetic embryopathy」(Ulf J Eriksson) 3) 教育講演:「遺伝子異常による糖尿病と臓器形成不全」(武田 純)「胎児発育および発達に関する最近の話題」(秦 利之) 5) シンポジウム:「肥満者の妊娠、分娩と長期予後」 6) ランチョンセミナー:「糖尿病治療の展望」(清野裕)「肥満治療の最近の話題」(吉田俊秀) その他 学会誌「糖尿病と妊娠」4巻を発行予定。 日本糖尿病・妊娠学会のホームページを随時更新する。 (http://www.dm-net.co.jp/jsdp/main.html)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
64.(社団)日本女医会	20	産婦人科医・助産士の確保と養成の推進・資質の向上 * 「十代の性と健康」指導者養成講座を五回開催(第四回から第八回) 目的:十代の妊娠中絶率の増加に伴い、増加している性感染症の恐ろしさを教え、正しい科学的知識・予防法等を徹底する。新しい手法の紹介し、地域におけるネットワーク作りにも大いに貢献した。 参加人数(対象者): 第四回 132名(医師、教諭、養護教諭、保健師、助産師、看護師、学生、その他) 第五回 112名(医師、教諭、養護教諭、保健師、助産師、看護師、学生、その他) 第六回 198名(医師、教諭、養護教諭、保健師、助産師、看護師、学生、その他) 第七回 122名(医師、教諭、養護教諭、保健師、助産師、看護師、学生、その他) 第八回 226名(医師、教諭、養護教諭、保健師、助産師、看護師、学生、その他) 開催数 5回 方法等 「性と健康を考える女性専門家の会」の協力得て、さらに各県、各県医師会、各県教育委員会等の後援を得、専門性の高い講師を選定し、講演内容も受講者より極めて好評であった。 * 性教育指導の専門指導者の養成とネットワーク作り	産婦人科医・助産士の確保と養成の推進・資質の向上 * 「十代の性と健康」指導者養成講座を東京近郊2ヶ所で開催する。 * 地域における性教育の充実と強化およびネットワーク作り。 * 会誌に「健やか親子21」について、記事を掲載する。
68.日本臨床心理士会	15	15 満足で妊娠、出産への支援 平成15年11月3日 いいお産プロジェクト(日本教育会館にて) 参加 【パンフレット等の配布】 日本臨床心理士会の案内、 東京臨床心理士会子ども相談室の案内、 子育て支援に関する臨床心理士会の情報の提供 関連する臨床心理士会の冊子、書籍紹介 【対象者】 イベント参加の妊婦、乳幼児の母およびその家族、 パラメディカルスタッフ 【部数】延べ数800部 【効果】出産後に起こりうる育児不安、困難に出会ったときの相談経路を予備知識として提供することが出来た。	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
76. 日本不妊看護学会	20.21.22	20・22 上半期の活動：日本不妊看護ネットワークとしての活動 1. 前身である「日本不妊看護ネットワーク」としての活動 1) 本不妊看護学会設立のための発起人会の開催および準備 本学会設立のための具体的準備をおこなうために、発起人会を2003年5月24日に第1回の会議を開催し、以後学会設立に向けて準備を行った。 2) 不妊看護に関する勉強会(事例検討会)の開催 第11回 4月19日 聖路加看護大学 長期の不妊治療後に双胎を妊娠した出産・育児への看護 第12回 8月30日 名古屋市立大学 不妊治療後に妊娠・出産した女性への精神的看護 3) ニュースレターの発行 No.10 6月20日、No.11 9月21日 下半期の活動：日本不妊看護学会としての活動 1. 設立総会および記念講演会・シンポジウムの開催(2003年10月4日) 1) 設立総会の開催 不妊看護の実践家・教育者・研究者の交流を促進し、学術的發展に寄与することにより、個人及び家族の生涯にわたる健康と福祉に貢献することを目的とした本学会を設立し、総会を開催した。	20・22 1. 第2回日本不妊看護学会学術集会の開催 テーマ：不妊とカップルの性を考える 日 時：平成16年9月5日(日)9:00 - 17:00 会 場：聖路加看護大学(アリスセントジョンメモリアルホール) 東京都中央区明石町10-1 会長講演：不妊とカップルの性を考える 講演者 浜崎京子(中央クリニック) 座 長 森 恵美(千葉大学) シンポジウム：生殖・性に揺れるカップルの傍らに いるということ 講演者 川野雅資(三重県立看護大学) - 不妊カップルのメンタルヘルス - 久慈直昭(慶應義塾大学) - 不妊カップルの性 男性が生殖・生殖機能に問題を抱えた時 - 森 明子(聖路加看護大学) - 不妊カップルが二人の生・生殖を大切に する性への支援 - 座 長 福井トシ子(杏林大学付属病院) 清水きよみ(東京医科歯科大学)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
76. 日本不妊看護学会		<p>2) 記念講演:「患者ケアに果たす不妊専門看護師 (fertility nurse)」 座長:森 明子(聖路加看護大学) 講師:Debbie Barber 氏 (Chair of Fertility Nurse Group,Royal College of Nursing,UK Lecturer in Specialist Clinical Practice ,Oxford Fertility Unit)</p> <p>3) シンポジウム:「不妊に悩むカップルに寄り添う看護をおこなうためには」 シンポジスト:実践者の立場から 福田貴美子(蔵本ウィメンズクリニック) 研究者の立場から 野澤美江子(兵庫県立看護大学) 行政の立場から 三枝きよみ(厚生労働省) 臨床医の立場から 荒木重雄(国際医療技術研究所) 参加予定者:100名程度 開催場所:聖路加看護大学</p> <p>2. 学会誌の発行 第1回学術集会の記念講演録、シンポジストの寄稿、設立総会報告等からなる第1巻第1号の学会誌の発刊準備を実施した。</p> <p>3. 不妊看護に関する勉強会(事例検討会)の開催 1月17日 神戸中央市民病院(神戸) 2月22日 蔵本ウィメンズクリニック(福岡)</p> <p>4. ニュースレターの発行 2003年12月 2004年3月</p>	<p>2. 実践不妊看護セミナーの開催 第2回学術集会の前日に、聖路加看護大学21世紀COEプログラムの共催で、以下の内容のセミナーを開催する。 日 時:平成16年9月4日(土)9:00 - 17:00 会 場:聖路加看護大学 東京都中央区明石町10-1 内 容:不妊治療の開始から終結までの診断や治療、ケアの実際について講演 ・医師の立場から ・看護師の立場から ・エンブリオロジストの立場から ・臨床心理士の立場から ・患者の立場から その後、グループディスカッションなどの予定 企画の段階のため当日のプログラムは若干異なることもご了承下さい</p> <p>3. 不妊看護に関する勉強会(事例検討会)の開催 平成16年4月 名古屋(中京・東海)、 6月 東京 以後、本年度は5 - 6回開催の予定。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
76. 日本不妊看護学会		<p>21</p> <p>1. 看護ケア提供者のための相談業務の開始準備 臨床で不妊ケアにあたっている会員のために、看護を提供していく上で問題解決の方法を共に考えるための相談窓口を設置する。2004年5月から開始できるよう準備を進めた。</p>	<p>4. ニュースレターの発行 年4回、ニュースレターの3号から6号を6,9,12,2月に発行の予定をしている。 3号:今年度の学会や推薦図書を取り組み、学習会報告、 学術集会のアナウンス、理事会報告など 4号:コンサルテーションについて、学術集会の報告、理事会報告など。 5号で不妊の経費補助の制度導入後の実態や制度について 6号で学習会の報告、次年度の学術集会のアナウンス 5. 学会誌の発行 前年度に準備を進めていた、第1巻1号の学会誌の発行 21 6. 看護ケア提供者のための相談業務(コンサルテーション)の開始</p>